

世田谷区 在宅医療・介護連携推進事業における
4年間のACP普及啓発の取り組み

株式会社メディアヴァ 神野真実

日本在宅医療連合学会 COI開示

神野真実

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業などはありません。

世田谷区 在宅医療・介護連携推進事業における ACP普及啓発の取り組み



在宅療養ACPガイドブック
「LIFEこれからのこと」の制作



区民向け講習会の企画／継続
地域包括支援センターに伴走



医療介護職それぞれの取り組みを
気軽に共有「ガヤガヤ会議」

背景

世田谷区高齢者ニーズ・介護保険実態調査

「人生の最期について自宅で迎えることを希望する」回答が60%以上

「人生の最期についての話し合い」は49%が「行っていない」

→ **世田谷区民のACPの認知・理解に課題**

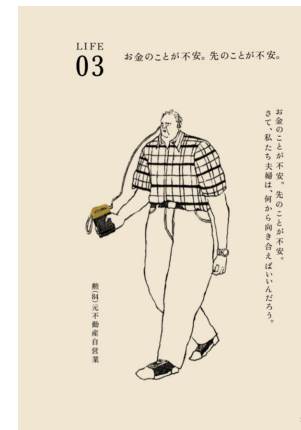
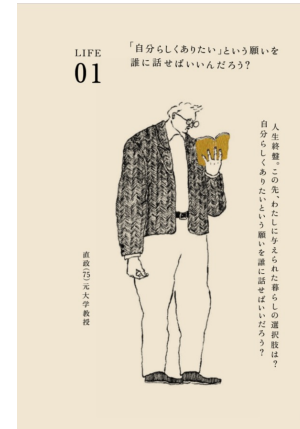
世田谷区 在宅医療・介護連携推進事業の一環として、令和2年～普及啓発を実施

1

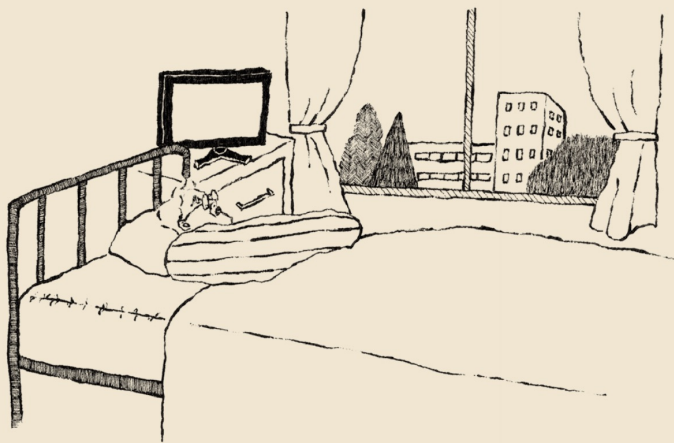
在宅療養ACPガイドブック 「LIFEこれからのこと」の制作

読み手の世田谷区民に届きやすい表現
本棚に置いておきたくなるものを

- 領域横断チームで制作
在宅医・訪問看護師・デザイナー・ライター
- 区民5人の物語
ACPや在宅療養の解説、「価値観のかけら」
- 区内28の地域包括支援センターへ、初版1万部
- 自由に活用できる解説動画を作成



<物語>



夏の夕暮れ時。
茜色にさす空を、窓からじっと見つめるのが
日課になっている。

今日の病院の夕飯は不味くはなかったし、
医師からは「病状も安定してきましたね」
と言われた。

妻を亡くして、3年になる。
ひとり娘は、離れた場所で暮らしていて、
時折会いにやってくる。
娘には娘の人生があると思うとおさら、
自分のからだだが、ゆくりと言うことを聞か
なくなっていくような感じに、ときおり、
苛立ちを感じる。

これからどうなっていくのだろうなあ、
と考える。

そんなある日、夢をみた。

<解説>

解説

「自分らしくありたい」という 願いをどうやって伝えよう?

いつか自分の思いや願いを話せなくなる時がやってきます。それは、誰に
でも訪れる自然な変化です。あなたが〈何が好きか、嫌いか〉とか、〈いつ
も人に囲まれていたいか、ひとりの時間を大切にしたいか〉とか。一見些細
に思えることも、その時を心地よく過ごすために大切なこととなります。

●自分の話をしておくとよい人は?

家族などのパートナー	あなたが話しやすい人、 信頼している人など
介護に関わる人	あんしんすこやかセンター、 ケアマネジャー、ヘルパーなど
医療を担当する人	かかりつけ医、在宅医、 訪問看護師など

●これって、誰のため? どんなときに役立つの?

あなたのために

意識がなくなり、自分のことを決められ
ないとき。あなたの決断を尊重します。

家族などのパートナーのために

家族があなたに代わって決めるとき。
負担を感じすぎずに決められます。

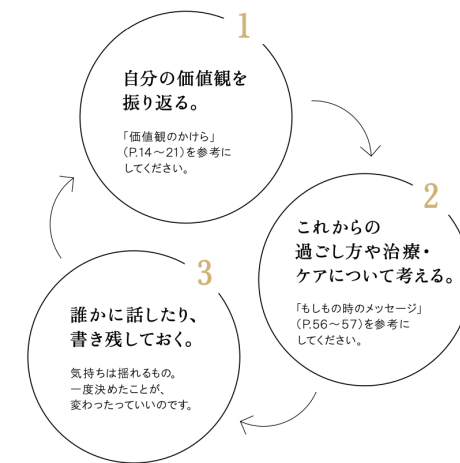
介護に関わる人のために

介護サービスの利用を含め、日常生活
の過ごし方を一緒に考えます。

医療を担当する人のために

あなたの病状だけでなく、生き方を
尊重し、医療の方針を考えます。

どんな内容を、どんな風に
話したらいいんだろう?



考え方は、変わることであります。何度でも繰り返し話し合います。

愛とか、恋とか、家族とか

これだから
人間って
やめられないよね

- お父さん似？ お母さん似？
どんなところが？
- 若者に愛と恋の違いを教えるなら？
- 家族ってどんな存在？
- まだ家族に伝えてない、大切なことはある？

好き嫌いって変わらない？

無人島に
持っていくなら？
とかいうじゃない

- 好きな食べ物は？ 甘党？ 辛党？
- 好きなもの、嫌いなものはこれ！
- 1日のうちで好きな時間は？
- これだけはやめられない！
趣味や習慣は？

連携のかたち・事例1

2021年4月

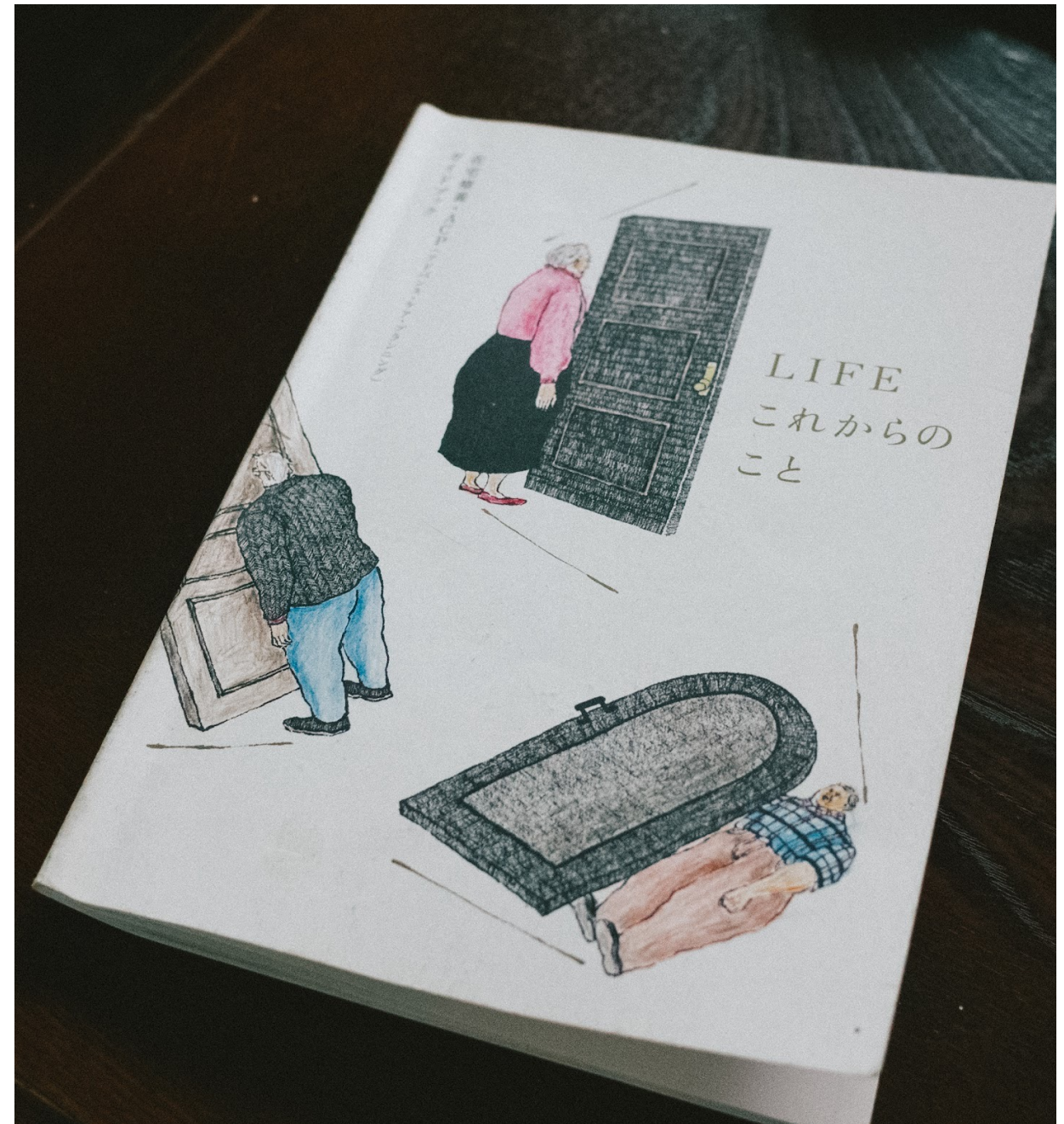
地域包括支援センターの担当者から、「世田谷区から新しく出た本ですよ」と手渡された。

2022年

書き込まれたLIFE、価値観のかけら。訪問診療の医師、訪問看護師の手に渡る。

現在

「誰でも手に取って読んでもらえるように」と家族やサービス担当者が手に取りやすいテーブルに随時置かれている。





夏の夕暮れ時。
茜色にさす空を、窓からじっと見つめるのが
日課になっている。
今日の病院の夕飯は不味くはなかったし、
医師からは、「病状も安定してきましたね」
と言われた。

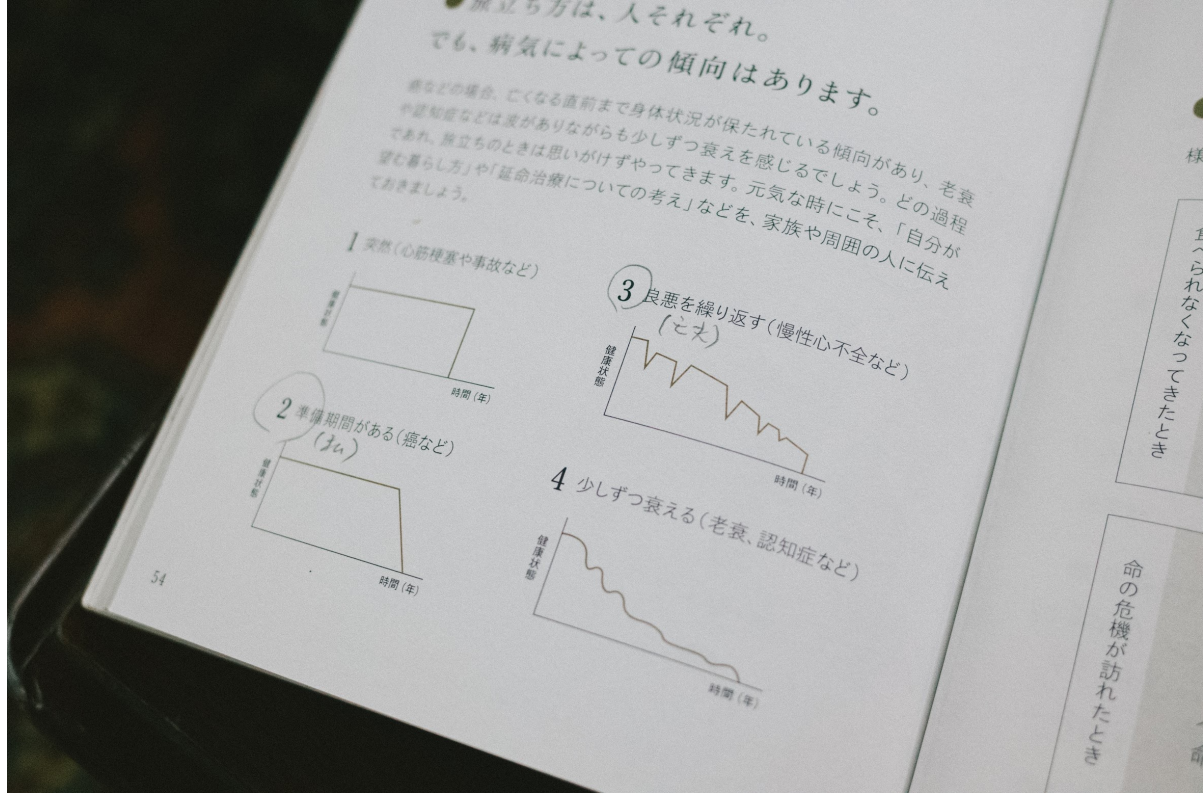
妻を亡くして、3年になる。
ひとり娘は、離れた場所で暮らしていて、
時折会いにやってくる。
娘には娘の人生があると思うとなおさら、
自分のからだか、ゆっくりと言うことを聞か
なくなっていくような感じに、ときおり、
許立ちを覚える。

これからどうなっていくのだろうなあ、
と考える。

そんなある日、夢をみた。

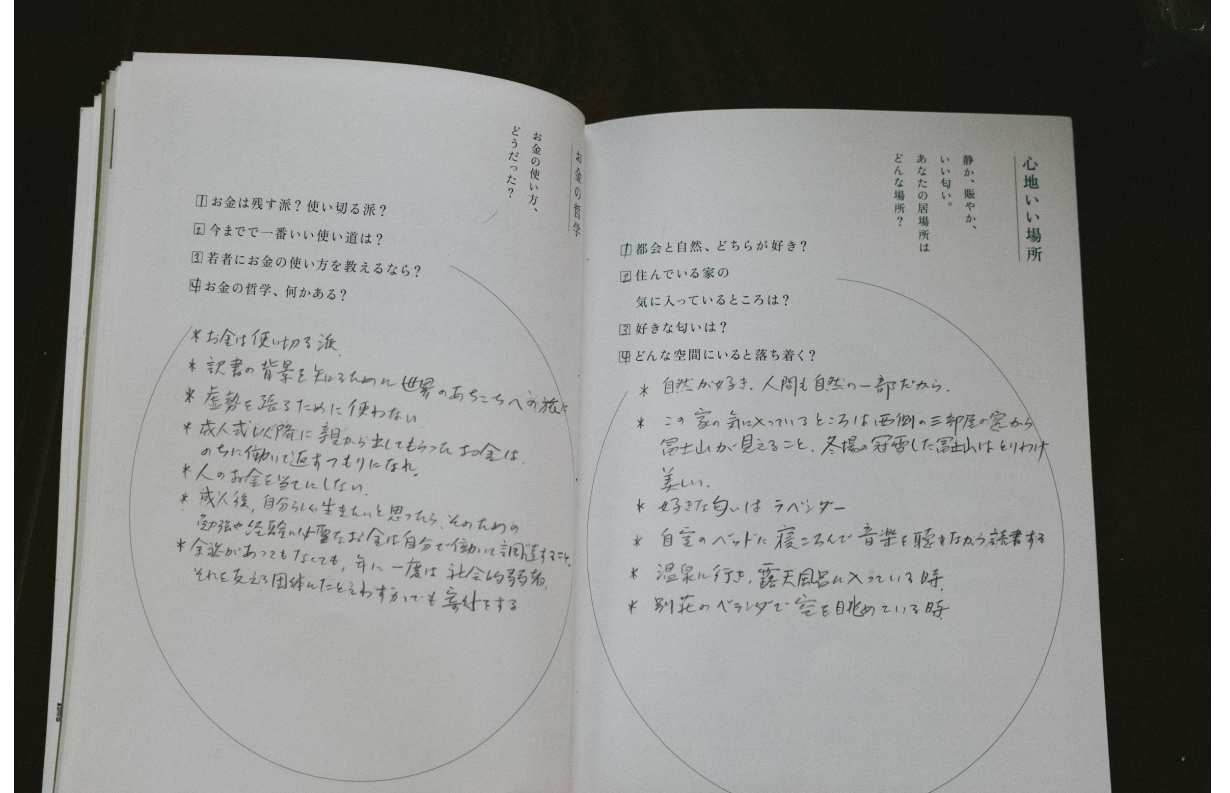
LIFE01 / 「自分らしくありたい」という願いを誰に託せばいいんだろう?

※ご本人の許可を得て掲載しています



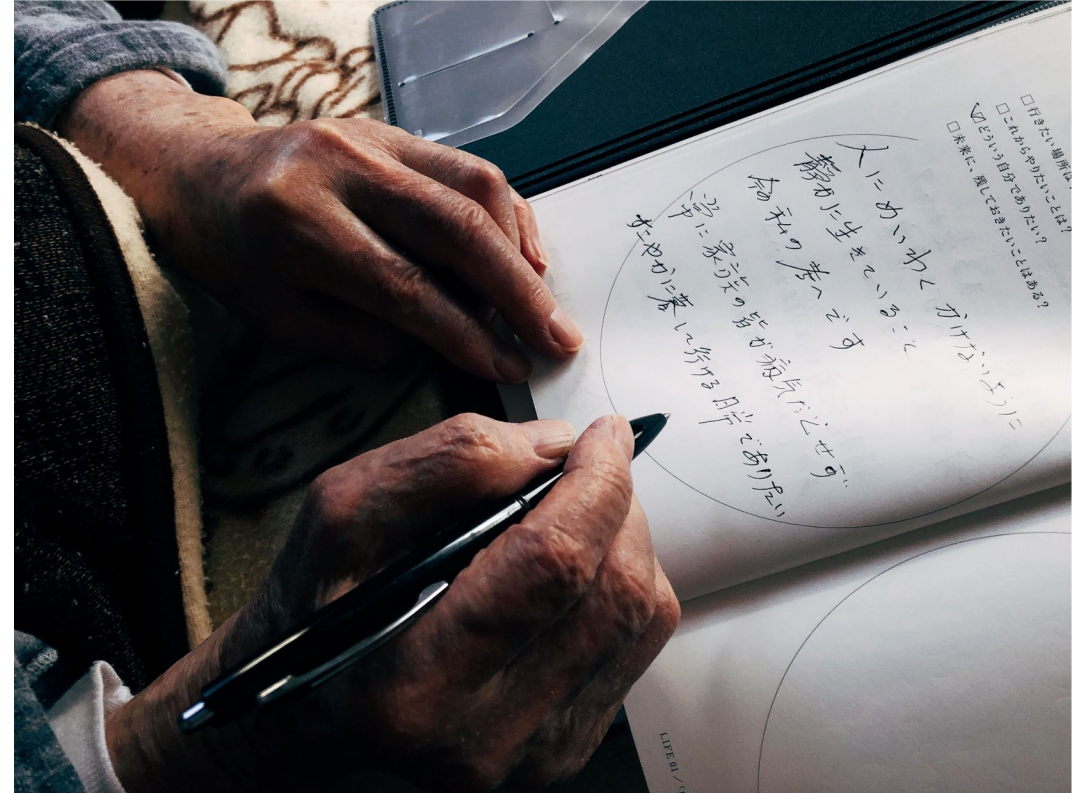
立ち方は、人それぞれ。
 でも、病気によっての傾向はあります。

病などの場合、亡くなる直前まで身体状況が保たれている傾向があり、老衰や認知症などは衰えがありながらも少しずつ衰えを感じるでしょう。どの過程であれ、立ちのときは思いがけずやってきます。元気な時にこそ、「自分が望む暮らし方」や「延命治療についての考え」などを、家族や周囲の人に伝えておきましょう。



※ご本人の許可を得て掲載しています

連携のかたち・事例2



※ご本人の許可を得て掲載しています

さいごまで
わたしはわたし
人生の主役

- 行きたい場所は？
- これからやりたいことは？
- どういう自分でありたい？
- 未来に、残しておきたいことはある？

人にめいわくかけないように
静かに生きていること
私の務めです

常に家族の皆が病気がせす
すやかに暮らしている日々でありたい

令和3年4月27日

これからの自分

れ変わっても
「し」がいい？

自分
は自分

- 自分の性格で気に入っているところは？
- あなたの大切な人はだれ？
- イライラしたとき、
落ち着くためにどうしてる？
- 人生の譲れないこだわりは？

人の一生は元気で
まことに迷わくかけないで
自分の意のままに生きて
ゆくことです

私の生き方です

令和3年5月11日

※ご本人の許可を得て掲載しています

御会葬御礼にそえて

二〇二〇年八月コロナ禍の中とんたんの在宅介護が始まりました。

在宅介護でお世話になりました訪問看護師さんと一緒に

綴った「LIFE これらのこと」の数ページをご紹介します
いただきます。

2

区民向け講習会の企画／継続 地域包括支援センターに伴走

自身の将来設計や地域活動に積極的な方に、
体験しながらACPを知り、広めてもらう

- 「価値観のかけら」を一緒に書いて話してみる
- 地域包括支援センター主催の区民向け講座に伴走
30回・900名の参加（R5）
- 元アナウンサーの住民による朗読つき講習会、お茶を飲みながらのおしゃべり講習会、職員が自らの「価値観のかけら」をポスター掲示する展開



職員版「価値観のかけら」
作成



窓口へ
ACPコーナー設置

3

区民向け講習会の企画／継続 地域包括支援センターに伴走

実施の仲間をつくっていく、
顔の見える関係性を作っていく

- 「人生会議」そのものの普及状況に合わせて、基礎編、職種別編、仲間づくり編とアップデート
- 事業所・職種を超えて、現状どんな取り組みをしているか、それぞれの課題を力まずに語り合う
「ガヤガヤ会議」
→ 互いの日頃の実践を讃えあったり共に悩み、地域の仲間を作る



ポイントまとめ

ACPの実践方法を形式化して広めるのではなく、本や講習会の作り込みを入念に行ったうえで、**本人、家族、専門職、それぞれに応じた実践を楽しみながら検討してもらう**

→ 活動が広がり、世田谷に**ACP**が根付きはじめています。
今後も**ACP**の文化としての定着を目指したい。

世田谷区在宅療養ACPガイドブック

「LIFEこれからのこと」

